

# ボランティア電話相談員の養成、 スキルアップのための合宿研修

社会福祉法人 いのちの電話

## 助成事業の概要

ボランティア相談員になるための養成研修、ボランティア相談員のリーダーになるための特別研修、ボランティアリーダーの継続研修、として、合宿研修が行われます。相談員の資質の向上や支えあいのための研修活動として、合宿研修は欠かせないものです。

- 1 養成研修：1年半の研修の第2課程修了時に行います。2020年中の相談員認定を目標とします。基本的なコミュニケーションについて考察する場、自分自身を振り返る時間とします。
- 2 特別研修：1年半の研修の2年次に行います。人間関係理解のための研修です。専門の講師によるグループセッションが行われ、グループを担う人材育成を目標とします。
- 3 リーダー会合宿：ボランティアリーダーのための情報交換、支えあい、研修を行います。各人が担っているグループでの体験や問題について、お互いに話し合い研修を行います。小グループに分かれてのグループスーパービジョンも行い重要な研鑽の場となっています。

## 事業の成果

- 1 養成研修  
電話相談員についてのぼんやりとしたイメージから、自分の理想とする相談員の姿を思い描くことができました。自身について改めてふり

かえる時間を持てたことで、自身の傾向に気づき、課題に向けて具体的な取り組みができるようになった。

### 2 特別研修

リーダーとして、グループの運営に携わる上での具体的なイメージがわかってきたようだ。また、時間をかけて自分自身の人との関わり方についてふりかえることができ、今後のモチベーションにつなげることができた。

### 3 リーダー会合宿

普段、顔を合わせる機会がないため、日ごらの活動をふりかえり、親ぼくの機会を持てた。さらに来年度に向けての新たな課題や新しい研修について意欲的に取り組める機会となった。

## 成果の広報、公表

当社会福祉法人いのちの電話では、全員がボランティアの相談員です。ボランティアというと、できる時にできるだけのことを行えばよい、というように都合よく解釈される場合があります。しかし、法人には電話相談のしくみ、枠組みがあります。当然、相談員一人一人は組織の決まりを守り、よりよい相談活動をするための継続的な研修の場が必要となります。そのためには仲間同士の支え合いがボランティアとして活動を継続していくための重要なファクターとなります。そのため、忙しい時間をやりくりして臨む合宿は、普段一人で抱えていた疑問点や対応の仕方を確認する機会となり、孤立しがちな相談員の仲間意識を

高める良い機会となっております。

## ■ 今後の展開

---

忙しい現代にあって時間を取ることが難しくなっているが、当組織として合宿研修は今後も欠かせない研修の一つと考えている。

養成研修については毎年ボランティア相談員を募集し、1年半の研修期間を経て、研修委員会での承認を得たうえで相談員の認定を行っているが、この研修に合宿は欠かせないものとなっている。時間を長く共有することによるメンバー同士の支えあい、絆を深めていけるという意味がある。

特別研修について、今後リーダーとしてグループを支えていく上での覚悟や仲間同士の支え合いを確認することは、途中で離脱することがないように、孤立を避けるための仲間意識を高めるために必要な時間と認識しており、リーダー養成時には必要な研修であると考えている。

リーダー会研修は、1年に一度の合宿を通じてリーダーとしての自分を再確認する意味と、仲間との情報交換や仲間同士の研鑽の場として重要である。

よって、今後も引き続き合宿研修を継続する予定です。